

第 143 号

2017 年 1 月 27 日

発行 平生町議会

〒742-1195

山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1

TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109

発行責任者 福田 洋明

編集 議会広報広聴調査特別委員会

印刷 中村印刷株式会社

議 平生町 議会だより



無病息災をねがうどんど焼き（1月9日 平生町スポーツセンター）

12月
議会報告

定例会…………… 2ページ
いっぱん質問…………… 4ページ
議会の動きなど…………… 11ページ



新年のごあいさつ

平生町議会

議長 福田 洋明

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春を迎えることと心からお慶び申し上げます。

平素は、議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、4月から、町内の公民館がまちづくりの拠点として地域交流センターに生まれ変わります。まちづくりは、時代の流れとともに斬新な発想が必要とされ、旧来のまちづくりの手法では未来を切り開くことはできません。

私たち議員も常に新しい時代感覚とビジョンをもって「人とまち『きずな』でつなぐ元気な平生」の一翼を担う所存であります。

本年も、町の厳しい現状を乗り越え、皆様の負託に応えられる議会、魅力あるまちづくりのため、議員一丸となって努力してまいります。

どうか昨年にも増して温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして本年が実り多き一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



平成28年第5回平生町議会定例会が、12月9日から21日までの13日間の日程で行われ、議案として、補正予算7件、条例8件、事件3件、意見書案1件が上程され、各議案は、全会一致及び賛成多数で可決されました。

一般質問は、8人の議員が町政の諸課題について質問しました。

補正予算

一般会計

3,245万円追加
予算総額
51億8,431万円

《賛成9、反対1》
人事院勧告に伴う改定による人件費影響額

一般・特別会計合計
384万円増

主な歳入

町税

町民税

1,300万円増

固定資産税

3,000万円増

国庫支出金

社会福祉費負担金
993万円増

公共土木施設災害復旧費負担金
5,069万円増

社会福祉費補助金
4,166万円増

水産業費補助金
2,518万円減

主な歳出

総務費

企画振興費

ふるさと納税増加分に伴うお礼の品
40万円増

財政基金積立金
674万円増

民生費

国民健康保険事業
繰出金
1,031万円増

障がい者福祉費
1,887万円増

臨時福祉給付金事業費
4,166万円増

保育所運営費
920万円増

農林水産業費

漁港建設事業費
5,231万円減

災害復旧費
7,600万円

尾国地区町道白石向井線崩落災害の補助災害認定に伴い、単独事業費から補助事業費へ振替

主な特別会計

国民健康保険事業

1,598万円追加

下水道事業

2,502万円減額

主な条例

▽平生町課制条例の一部を改正する条例

※総務課及び総合政策課の業務を整理再編し、それぞれ総務課及び地域振興課に。町民課及び健康福祉課は、それぞれ町民福祉課及び健康保険課に再編し、経済課は環境業務を加え産業課とする。また、徴収対策室については、所期の役割を果たしたことから、このたび廃止する。施行日は、平成29年4月1日。

▽一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
《賛成9、反対1》

反対討論

県の人事委員会の勧告を受けての改正だが、町の状況から考えて、議案の内容は適さない。

反対討論

農業委員は選挙が一番民主的な方法である。委員数については、減らすべきではない。

田布施平生水道企業団議会議員選挙

長岡 浩議員の死去に伴い田布施平生水道企業団議会議員選挙が行われ、指名推薦により、岩本ひろ子議員を選出しました。

委員会審査報告

産業文教常任委員会

平成28年12月9日の本会議から付託を受けた案件を12月15日、慎重に審査した結果、議案はすべて全会一致で可決しました。

主だった審査経過は次のとおりです。

一般会計補正予算

質 漁港建設事業費道路橋梁維持費の委託料と工事請負費の減額理由と今後の工事内容は何か。

答 国の補助金の減額によるもの。委託料では、海岸保全施設の施設点検は、点検箇所を若干少なくして対応する。小森地区の胸壁は次年度に要望する。第二荒木橋は次年度、町道隅田水越線は延長を減らして対応する。

質 町道白石向井線の道路災害復旧事業の進捗状況は。

答 業者と仮契約をした段階である。延長は36・4メートル、土砂を全て撤去して法枠工法で施工する。200日程度の工期。

賛成討論

当初予算編成をする際の投資的経費の比率を高める努力は必要だが、決算との差が経済対策上混乱をきたさないよう十分な配慮をしてほしい。

特別会計補正予算

質 下水道事業における工事請負費の減額理由。

答 国の補助金の減額によるもので、延長を減らして調整を行う。

条例

質 農業委員と農地利用最適化推進委員の募集内容・活動内容は。

答 基本的に町内の人とする。候補者を審査する評価委員会は執行部内の関係課長で組織し開催する。足りなかった場合は、関係

機関等への働きかけや期間の延長を行い対応する。

農業委員は毎月総会に出席し審議する。推進委員は農地の状況の巡視・報告が中心である。

総務厚生常任委員会

平成28年12月9日の本会議から付託を受けた案件を、12月16日、慎重に審査した結果、議案はすべて全会一致で可決しました。

主だった審査経過は次のとおりです。

一般会計補正予算

質 ふるさと納税の件数、補正内容の詳細は。

答 11月6日現在では340件の寄附。1万円の寄附がもっとも多く、これに対するお礼の品3千円、送料1千円の経費をあわせて1000件分を想定した補正。

条例

質 課制条例の一部改正には班の事務分掌に

ある言葉も入ってきっており、条例だけではなく規則部分も含めた丁寧な内容説明がほしい。

答 現条例の中では業務の網羅が不十分であり、項目だてて町民にわかりやすくする。

賛成討論

新しい機構改革を見守るが、条例と規則は表裏一体のものとの認識は必要であり、今後は丁寧な説明を求めるよう申し入れる。

質 地域交流センターにおける営利目的での使用許可を管理者側にゆだねるのか。個人で生涯学習を行う場合でのセンター使用料の減免はどうか。

答 営利目的であっても使用料をいただくことでコミュニティ協議会の活動原資とすることがある。減免適用となる社会教育団体に個人として属して、団体としての減免を受けることが現状であると考えるが、検討課題としてほしい。

委員会行政視察研修報告

10月11日～13日

総務厚生常任委員会

佐賀県みやき町では「地域福祉」「子育て支援策（PFI方式による子育て支援町営マンション）」を、玄海町では、「地域振興」「ふるさと納税」を研修し、最終日は、熊本市、御船町で「防災対策について」研修した。

このたびの行政視察で学んだことを平生町に還元できるように、様々な形で取り組みたい。

産業文教常任委員会

福岡県篠栗（ささぐり）町で「交流人口を増やすための観光の取り組み」を、大分県由布市で「農業・商業・観光の連携による地産地消と特産品ブランド化推進計画の取組と成果」を研修し、最終日は、佐賀県江北町にて「ICT教育の現状について」研修した。

平生町が、活性化できるよう、研修の成果を活かしていきたい。



細田留美子 議員

いっばん質問

ここが聞きたい

質 障がい者の力を農業に生かせ

答 連携をとって対応していきたい



就労継続支援事業所B型（あいあむ）の施設

質

全国的に農家の高齢化や担い手不足により農地の荒廃が進んでいいる。解決策のひとつとして農林水産省が農業分野への障がい者の就労を進めている事に注目が集まっている。平生町内では障がい者手帳所有者は700人を超えている。一億総活躍が国の方針であり障がい者就労も大切な政策だ。農福連携の取り組みはあるのか。

答

町長

本町の場合、大きな農業法人とか、農家がたくさんあれば、町のほうから連携をアプローチできるが、そういう状況ではない。就労支援の施設、事業所なり、就労継続事業A・B（Aは雇用契約あり、Bはなし）の施設もある。就労サポートしていく意味からも、事業所と連携をとって対応していきたい。

質 安心して生きるための制度の充実を

答 医療と介護の連携に向けて取り組みを進める

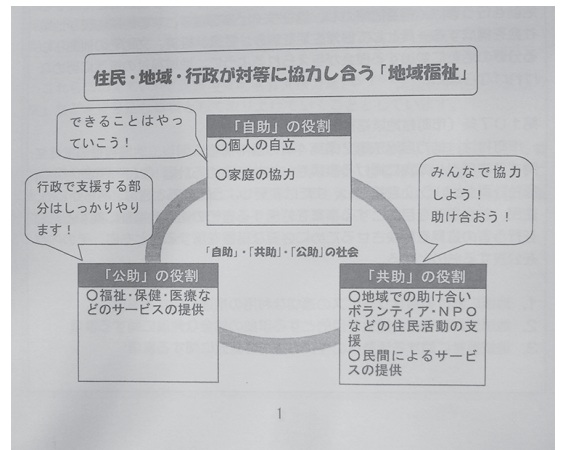
質

地域包括ケアシステムでは終末期まで自宅で暮らせる制度設計になっている。住み慣れた家で最後までその人らしく生きるにはまず本人の覚悟が必要。そしてそのための情報を家族や地域の人が知っていることも重要だ。往診してくれる医師や訪問看護やボランティア、生活支援の体制など社会資源は整っているか。意識啓発と制度の充実を図る取り組みはどうか。

答

町長

団塊世代が75歳に到達する時の医療、介護福祉の状況を見据えながら対応していかねばならない。介護と医療、予防、住まい、生活支援、この5本柱でそれぞれがうまく連携しながら住宅でケアができる流れを作っていると思う。問題は医療と介護の連携、病院を退院した後のケアをどうしていくのか、高齢者のケアの方針をしっかりと、これから行なわなければならない。





岩本ひろ子 議員

質 街路灯の新增設について

答 県に要望すべきは要望する

質

町内にある県道光上関線の角浜から曾根の交差点の街路灯が少ない。道路隣接に新しい住宅が増え、利用者が多くなってきた。通学路として通う学生達も、暗がりの中、帰宅している状況である。環境が変化しており、安全な道として街路灯を増設すべきと思うが、対策の取り組みはどうか。

答

町長

地域の中において防犯・交通安全を目的として自治会が街路灯の設置や修繕を行う場合は、その費用の一部を補助している。補助率は、経費の2分の1、上限を1基2万5000円で取り組みを進めている。県に要望すべきところは要望し、今、自治会と新設を含めて相談している。



街路灯の少ない県道23号線

質 テレワークの助成策について

答 具体的に何ができるのかの調査研究が必要

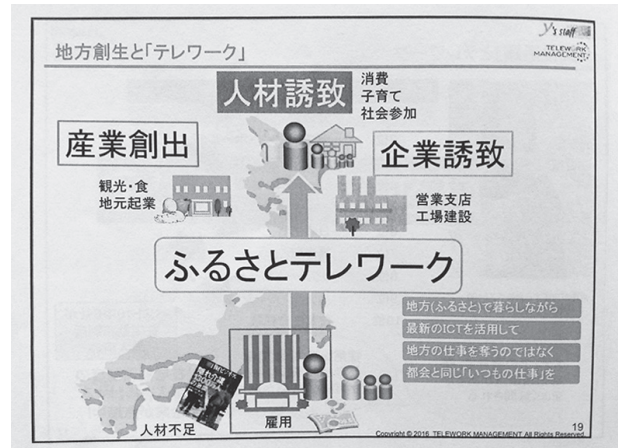
質

政府の働き方改革の柱の一つであるテレワークは柔軟な働き方を可能にする制度である。身体の不自由な方、子育て中の方、介護を必要とする家族のいる方など、テレワークが促進されれば能力を發揮し仕事をすることが可能になる。これを普及させるためには町政においても助成策が必要と思うがこの取り組みを問う。

答

町長

今、国家戦略としてIT国家を目指す一環としてこのテレワークが日本で活用されている。テレワークの普及促進に向けたいろんな啓発などについては、我々もこれから取り組んでいくことになるが、具体的に平生町で何ができるか研究していく。今後どのような支援ができるのか、検討課題だと受け止めている。



テレワークの仕組み



渕上正博 議員

質 介護保険制度 地域支援事業の具体化は

答 介護報酬の基準認定に向けて協議を進めていく

質

厚生労働省は、原則1割負担となっている介護保険の利用料を、医療保険に準じて1割から3割負担とする考えを示している。

このように、介護サービスは年々低下の道をたどっている。

来年の4月から要支援者に対する、訪問介護・通所介護の「地域支援事業」への移行が決まっている。

サービス低下を招かない具体的な対応はどのようになっているか。

答

町長

国が示しているのは現行相当サービスをそのまま移行する。それから緩和した基準でサービスA、ボランティア等によって提供するサービスBと示している。その関係で今、介護報酬が下がっており、報酬単価が大きな課題と受け止めている。今、適切な報酬単価の設定に向けて取り組みを進めており、4月の移行に向けて介護報酬の決定、あるいは基準の設定に向けて協議を進めている。



要支援者のサービスが外れるほのぼのセンター

質 教員の部活動の負担の軽減は

答 複数顧問制度や外部指導者を取り入れている

質

文部科学省は「学校現場における業務の適正化に向けて」という報告書を出している。

その中で、教員の苛酷な労働環境が問題にされ「教員の部活動における負担を大胆に軽減する」という方針も示された。

具体的には「適切な休養日の明確な設定、複数顧問の配置」など、負担軽減に向けた取り組みの実施を求めている。

教員の部活動負担軽減の具体化は。

答

教育長

校内体制としては、一つの部活動に複数の顧問を配置する複数顧問制度により、週休日の活動や引率業務を分担するなどの工夫をしている。

さらに多くの部活動が外部指導者やボランティアを活用し、専門的な指導の助言や部活動の補助をいただくことで、部活動顧問の時間的あるいはまた心理負担軽減を図っている。今後も学校と連携し、より良い方策を図っていく。



部活動がさかんに行われている平生中学校



村中仁司 議員

質 新庁舎の整備検討委員会の活動は

答 平成29年度中には方向性を示したい

質

本町の役場本庁舎は昭和35年の建築で築後56年経過しており、かなり老朽化している。本庁舎の問題点として耐震性能不足があるが、もし本庁舎が地震により大きな被害が出た場合に「防災の拠点としての機能・行政の拠点としての機能」不足となるが、その解決策は。



築後56年の本庁舎

新庁舎整備検討委員会の活動はどこまで進んでいるのか。

答

町長

検討委員会はこれまで4回の委員会と部会2回開催をしている。整備方法として現庁舎の耐震改修か、現地で建て替えかあるいは全面移転で、現在検討協議中で具体的な結論はない。本庁舎の機能を喪失した場合、耐震基準を満たしている大規模な地震にも使用できると考えている。第3庁舎を代替庁舎として想定をしている。

質 国道188号線沿いに道の駅は造れないか

答 ひらお特産品センターを道の駅的に活用する

質

岡山県新見市の道の駅、鯉が窪では「診療所・図書館・子育て支援としての認定子ども園・行政窓口・直売所」等地域振興の機能を集約して小さな拠点を形成している。消滅自治体という言葉があるように地方は厳しい状況にある。国や県の地方施策を利用しながら、いろんな使い方のある道の駅造りを目指すことはできないか。

答

町長

道の駅は24時間、無料で利用できる駐車場とトイレ、これが要件としてあり、国交省に登録申請をする必要がある。本町のひらお特産品センターは用地を借りているため制約条件があり、すぐということにはならない。特産品センターを道の駅的な活用ができるように、更なる取り組みを進めていく。



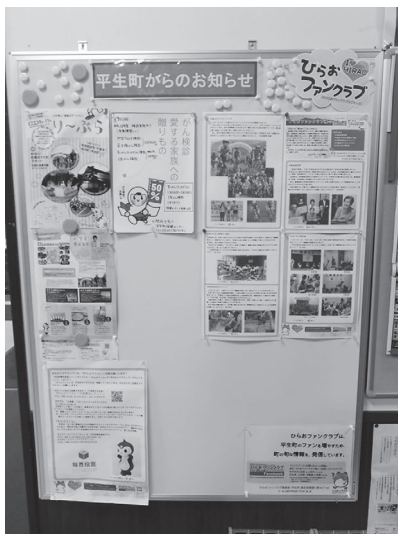
岡山県にある道の駅（敷地内の図書館と診療所）



松本武士 議員

質 (株)丸久との地域包括連携協定の今後は

答 やれる項目から取り組んでいく



アルクに掲示した町のお知らせ板

質

①現状とこれからの取り組みは。
②平生産農水産物が、いまだに販売されないのはなぜか。加工品だけでも早急に販売できるようにならないのか。

答

町長
9月14日(株)丸久と9分野39項目で協定締結した。具体的にはアルクの中に掲示板を設置、観光イベントなどを情報発信している。39項目の内には直接災害時のことなどもあり体制が整い次第取り組んでいきたい。
農水産物については依頼はまだしていない。ひらお特産品センターの売り上げが23年度より減少しているため、まず生産体制を安定させ、その後アルクをお願いしたい。

質 小中学校のICT機器導入に情報化推進計画を作成するべきではないか

答 当面は国が示す水準の達成を目指し整備を進めて行く

質

①国・県は、教育の情報化を進めるよう言っているが、平生町は、どの程度進んでいるのか。
②財政措置の延長要望が必要ではないか。
③情報化推進計画を作成してはどうか。

答

教育長
教育振興基本計画での目標と比較して、コンピュータ教室、台数、校務用コンピュータ、高速インターネット接続は水準並みと考えている。
ICT機器が目まぐるしく更新、進化し、主流である機器や価格の変動等見通しが困難な状況がある。職員の育成や教材の開発状況何より財源の裏づけが必要で情報化推進計画作成は困難である。



佐賀小学校のICTを使った授業



平岡正一 議員

質 弱い立場の方々が安心してくらせる町づくりを

答 障がい者の立場を踏まえ、必要に応じた整備を進める

質

指定難病の医療費助成制度の更新手続きをする場合、毎年、有料の調査票や課税証明書など多くの書類を県に提出する必要がある。調査票は無料にし、町の窓口で受け付けるなど簡素化出来ないか。

町内の全公共施設の障がい者用トイレを調査した結果、オストメイト対応は3カ所のみ、施設のあり方も不十分。改善を進めるべきだ。

答

町長

難病医療費助成制度手続きを市町村への移譲事務にできるか研究し対応を考えていく。

町内17施設、障がい者トイレ、他目的トイレの整備とオストメイトについては3カ所、避難所の関係もあり遅れてはいるが必要に応じて検討して行く。

答

教育長

イベントを行う際に障がい者への対応を想定することは大切なポイントである。



オストメイト(人工肛門、人工ぼうこうを持った人)が使用するトイレ

質 子育て支援は福祉・教育の両面で

答 教育委員会とも連携し、あり方を決めていきたい

質

ことばの教室の場所がこれまで5回も転々とするなど不安定な状態がつづいている。

学校の敷地内に適切な施設をつくり、学校と協力して進める必要がある。「発達障がい児」への対応など、これから先を考えると同様の対策が求められる。福祉・教育両面で子育て支援に取り組む必要がある。先進的な体制づくりを求める。

答

町長

子供たちが静かな環境で集中力を持つてやれるよう教育と子育ての連携は、連続して行うべきと思っている。

平成12年4月1日より開設し今の町老人福祉センターで28年2月からやっている状況である。

平生小学校の「ことばの教室」は学校教育法に基づくもので、正式名称は「通級指導教室」である。子育て支援は現状、課題等を洗い出し連携、協議しながら探っていきたい。



平生町老人福祉センター内のことばの教室



中本敦子 議員

質 今後平生町の農業発展をどのような方針で計画されているか

答 農業委員会を通じてチェックしていく

質

田布施町・平生町・柳井市のほ場整備事業は平成17年度より実施調査を開始、要件を確保できる見込みとなり23年度より本格的にスタートしている。平生町は大野地区の協議のみで不参加を決めた。全域に知らせる気や交渉する配慮はなかったのか。負担割合は、太陽光発電は耕作放棄地の解消になるが、農業振興や環境への苦情はないか。

答

町長 国営事業によるほ場整備事業では、実施可能な団地調査において南周防地区のほ場整備では面積要件があり、10ヘクタール以上の団地が必要となり、大野地区のみであった。太陽光発電については、農地法において、設置の規制、指導は具体的に定められていない。農業委員会を通じてチェックしていく。

負担割合の一覧表				
事業名	国	山口県	市町	受益者
区画整理 (ほ場整備)	66.7%	25.2%	5%	3.1%
ため池整備	66.7%	25.2%	6.1%	2%
暗渠排水(単独)	66.7%	25.2%	5%	3.1%

ほ場整備などの負担比率



中川裕之 議員

質 有害鳥獣の抜本的な対策を

答 研究をしながら、被害防止計画を策定する

質

近年、有害鳥獣の被害に悩まされる地域住民からの苦情、不満の声は日増しに高まっている。平成15年に被害の事例を確認してから10数年が経過している。出没する鳥獣を捕獲駆除されている関係者には頭が下がる思いである。しかしいまだに終息が見えてこない現状である。繰り返しではなく元を断つ抜本的な解決策を考える時期ではないのか。

答

町長 有害鳥獣は、特にイノシシについてみると、いまや急激に町内全域で被害が発生している。これに対して被害防止計画を現在策定している。これからのやらんだ計画となるが、根本的な対策となると、どういう手が打てるのか、研究をしながら策定していく事になる。

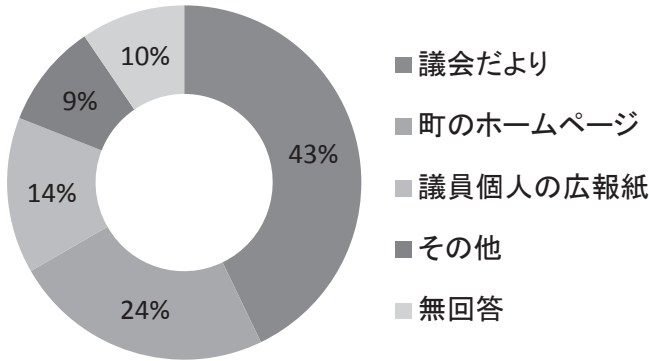


くくりワナにかかったイノシシ

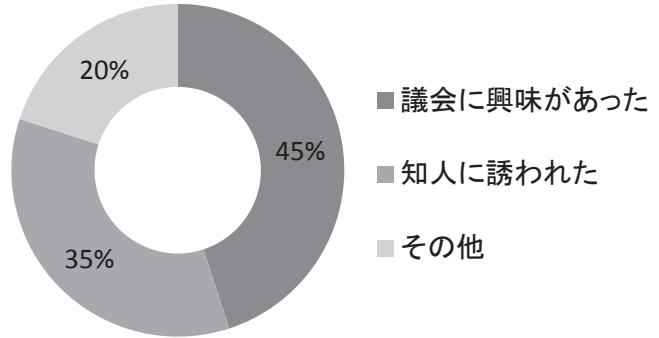
傍聴者アンケート実施結果

このたび広報委員会は、傍聴者の皆さんにアンケートを実施しました。

議会に関する情報の取得方法



傍聴理由



傍聴理由【その他】

- ・平生町をなんとかせなならんと、住民が実態をしるべきだと
- ・平生町発展の為に。過去の見直しと町民の声を大事にする
- ・今後の町政に興味があった
- ・質疑・答弁に関心があった

広報広聴調査特別委員会報告

全国町村議会
広報研修会

広報広聴調査特別委員会は、より良い議会だよりの編集に向けて10月26日、東京で行なわれた全国町村議会広報研修会に参加しました。

研修内容は、3人の講師によって行われました。

まず始めに、「分かりやすく、伝わる広報紙の表記」と題して研修しました。

次に、「読まれて、伝わる議会広報誌」、3番目には、「第30回広報コンクール紙面クリニック、優秀賞受賞紙から学ぶ企画編集」について学びました。

私たち委員会では、この研修会を糧に町民の皆さんが、読みやすいと言われるような議会だよりを編集していきたいと思えます。

平成28年度山口県
町議会広報研修会

町議会広報研修会が、11月25日に田布施町役場にて行なわれました。

この研修会は、県内5町の広報委員会のメンバーが一堂に集まり各町の議会だよりを編集するにあたり、よりよい方法、また疑問点などをお互いに出し合い議論を深める研修会です。

各町の議論は活発で一つひとつ疑問点に対して、色々な意見が出され、それを集約して一つの方法を作り上げていく、とてもいい研修会であったと思えます。

当町の委員会としても、この有意義な研修会、意見の集約から出された結論を持って、よりよい議会だよりにつくっていきたく思います。

長岡 浩 議員 逝去

長岡 浩議員が昨年12月14日逝去されました。65歳でした。
故長岡議員は、平成27年の初当選後、総務厚生常任委員、田布施平生水道企業団議会議員をつとめられました。

1年数か月という短い期間でありましたが、持ち前の行動力で町内を奔走し、町民との対話を重ね、町政の発展に多大な貢献をされました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平生町議会 議長 福田 洋明



議会研修報告

山口県町自治研修会が9月29日に開かれました。講師はテレビ等でおなじみの、須田慎一郎氏です。研修会の内容は「これからの政局展望」として、日本の政治と経済について話されました。特に、安倍政権になったこの4年間について熱く語っておられました。



平成29年3月定例会会期 (予定)

3月9日	9時	本会議
3月13日	9時	本会議
3月15日	9時	総務厚生常任委員会
3月16日	9時	産業文教常任委員会
3月23日	9時	議会運営委員会
	10時	本会議

議会の動き

28年	9月5日	第4回定例会	10月11日	総務厚生常任委員会
9月5日	9月16日	議会広報広聴調査特別委員	10月13日	産業文教常任委員会
9月5日	9月23日	議会広報広聴調査特別委員	10月21日	熊毛郡議会広報連絡協議会
9月5日	9月28日	議会広報広聴調査特別委員	10月26日	町議会広報研修会
9月5日	10月7日	議会広報広聴調査特別委員	11月18日	産業文教常任委員会
9月16日	9月28日	議会全員協議会	11月24日	総務厚生常任委員会
9月23日	11月30日	議会広報広聴調査特別委員	11月28日	議会運営委員会
9月28日		議会広報広聴調査特別委員		議会全員協議会
10月7日		議会広報広聴調査特別委員		議会改革調査特別委員会



原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内
・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

明けましておめでとうございます。
今年一年、町民の皆様方にとって良い年になることを、心よりお祈りいたします。
私の新年の初めの行事は、初日の出の参拝です。
今年の初日の出、よく晴れてすがすがしい朝、私たち宇佐木地区は、毎年恒例となっている般若寺に向かつて歩きます。約1時間での目的地です。
30数名の参加でしたが、新年の挨拶を交わしながら、楽しい時間を過ごすことができました。
平生町議会広報委員会は、町民の皆様方に読んでもらえる議会だよりを毎回の委員会における議論、また他町との研修会を含め、努力しながらつくつていきたいと思っております。
今年も宜しくお願いたします。
渕上正博